

倉吉市議会だより

白壁

12月定例会



今号の内容

市政に対する一般質問	2〜4
議案質疑・議会発議	5
常任委員会	6
議案等の議決結果(議員別)	7
10月臨時会・1月臨時会 議案等の議決結果(議員別)	8
そのほか・行政視察	9
高校生に聞いてみた!	10〜11
市民の声・編集後記	12



～1月7日(日)、平成30年倉吉市消防出初式～

災害のない一年を願って



発行日:平成30年2月1日





より良い倉吉市を目指して

平成29年12月第7回倉吉市議会定例会が、12月4日(月)から18日(月)まで開催され、平成29年度一般会計補正予算および特別会計補正予算、陳情などが審議されました。
 会議録(質問、答弁など)は、各地区公民館、各人権文化センター、市立図書館などで、2月下旬からご覧になれます。
 また、そのほか、倉吉市ホームページから市議会会議録検索システムがご利用になれます。

【一般質問とは?】

年4回の定例会で行うことができます。議員が、市の事務の執行状況や今後の方針などについて報告や説明を市長や執行機関の長に求め、適切な市政運営が行われているかを質すものです。

質

【市庁舎の修繕】市役所第二庁舎(旧ホテイ堂)の利活用について、民間合築は?



新代会
福井 康夫 議員

答

仮に、商業施設に入っているかということについては、もたどくとしても、あまり大きな面積をとることができない。市民の意見をいただき、もう少し議論を深めていければ、どこまでの機能を持たせるなど思っている。

質

【学校再編】分校方式など、教育委員会の原案以外での可能性はあるか?



新代会
由田 隆 議員

答

【福井教育長】これまでは、教育委員会が全て提案するやり方で、地域住民は、受け身になる状況だった。今後は、地域や行政、教育委員会という考え方を、多くの人の話し合いの中で、課題を洗い出し、そこの方針を探っていくという方法が良いのではないかと考えている。

質

【学校再編】上小鴨小学校の地域は、当初から存続希望!計画を一度白紙に!!



新代会
笠原 晶子 議員

答

【福井教育長】これまでの上小鴨地区での説明会も、意見が出やすい手法を提案したつもりだが、それも受け入れてもらえなかった。しかし、上小鴨地区も倉吉市の一部。教育のあり方を、市全体として考えていくべきだという議論もあるので、計画から上小鴨だけ外すとは、私の口からは言えない。

質

【公共経営】公民連携を重視し、民間の優れた技術や経験・資金を最大限に活かそう。



新代会
伊藤 正三 議員

答

昨年度、公共施設等の財政負担を軽減し、維持管理や更新の考え方を整理した総合管理計画を策定。民間で代替可能なものは、その手法を取り入れ、支出の削減あるいはサービスの向上を推進することになっている。そういう視点を持ちながら、行財政運営に取り組みよう努力したい。





質

【震災】道路のヒビ割れが大きくならないうちに、修復に努めてほしい。

答

基本的に、震災で壊れた道路は直さないといけない。判定は日常生活に支障があるかどうかが一つの目安になる。災害査定を受けた上で工事維持補修に係ることになる。

にかかると、

ただ、危険がある場合は、当然修復をしていく。日常の点検作業と修復という問題、維持補修に係ることになる。

質

学校再編は「目的」ではない。「教育の倉吉モデル」が子ども達に必要では？

答

学校は、子どもたちの成長の場としてなくてはならないもの。子どもたちが、この倉吉というふるさとを誇りに思えるような、そういう教育の場として十分機能するように先生方には、頑張っていたいただきたいし、そのための支援は惜しまないつもり。そういうスタンスで臨んでいきたい。

質

合併で何がどうなったのか？今後の行政経営・行財政改革に向けて検証を。

答

合併によって、市民サービスや施設整備など、さまざまな変化が生じていると思う。財政見通しや、これまでの改革の実績評価は、その都度実施したが、合併を基点として総合的な検証はやっていない。今後、実施する行財政改革を有効なものとしていく上で、振り返り作業は必要だと思う。



質

【県立美術館】進捗状況と今後の課題は？行政と市民の協力をどう進めるのか？

答

建設推進は、県中部全体の動きにしなければならぬ。今年12月下旬には、「県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会」を設立予定。情報共有を図り、さまざまな可能性を追求して、倉吉を中心に中部地区が大きく発展するような、そういう美術館となるようにしたい。

質

老朽化した関金児童館の移転と放課後児童クラブ専用施設の建設を検討すべき。

答

関金児童館は、関金総合文化センターへの機能移転ということも含めて協議している。関金児童クラブについては、今後は関金小学校の校舎を活用する方向で学校とも調整していきたい。山守児童クラブは、保護者の皆さんとよく話し合っている。今後は関金小学校の校舎

質

【震災】半壊以上と判定された家に今も居住する世帯数は？救済策はないか？

答

該当する世帯数を正確に把握することは難しいが、支援金の申請、支払い済み等の状況から推測すると、42世帯程度が、修復をされないまま住み続けているのではないかと考えている。既存の福祉制度も含めて、あらゆる制度を活用しながら、相談に応じていきたい。





公明党・グリーン共同

山口 博敬 議員

質

災害対策を万全に!! 住民の自助力、共助力が不可欠。各地区での防災訓練を。

答

災害対応では、自助、共助が基本で、意識を高めることが大事。研修会やホームページで大切さを説明している。防災士の資格を取得する方



くらよし創生

佐々木 敬敏 議員

質

古川沢(上北条)、福守(社)に浸水しやすい地域がある。浸水被害に対応してほしい。

答

古川沢は、排水路の接続水路からの流入を防いで、転倒堰を早目に転倒させ、排水能力を確保する樋門等の管理対策を強化。福守は、輪王寺の



くらよし創生

米田 勝彦 議員

質

第二庁舎(旧ホテイ堂)の利便性向上のため、宮川町駐車を改善してほしい。

答

第二庁舎の設置という、新しい事態に対応する場合は、改善を図っていかねばならないと思う。それにより、利便性を高め、より快適な利



つばき

大月 悦子 議員

質

議会・行政に関心を。議員は市民! 市民に開かれた議会、市民議会の開催を。

答

市民の皆さんに政治に関心を持っていただくことは非常に大事なことだと思ふ。これまでも、私と市民の皆さんとの対話の場を持つてきた。



日本共産党

佐藤 博英 議員

質

放課後児童クラブの職員の待遇は、大幅に見直す必要があるのではないかと?

答

児童支援員は月給制で、経験年数に応じて昇給をする。支援員補助は日額での支給となつてゐる。市役所の職員全体、図書館



(無所属)

朝日 等治 議員

質

インターネット上で資金を募る「クラウドファンディング」を本市も活用しては?

答

※ガバメントクラウドファンディングは、出資金の使道をはつきり知りたい方などに支持をされている方式。目標金額に到達しなくても、集

※ガバメントクラウドファンディング...自治体がプロジェクト実行者になって、インターネット上で不特定多数の人から資金を募る手法



議案の疑問を質す

12月11日(月)には、執行部から提出された議案に対し、各議員が質疑を行いました。

議員名	発言の要旨	担当部局
鳥飼 幹男	小学校就学援助について	教育委員会
鳥飼 幹男	除雪対策について	建設部
由田 隆	保育所運営について	福祉保健部
由田 隆	債務負担行為補正 上井保育園指定管理料について	福祉保健部
由田 隆	倉吉市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	総務部
由田 隆	倉吉市若者定住新築住宅の固定資産税減免条例の一部改正について	総務部
伊藤 正三	小学校就学援助について	教育委員会
伊藤 正三	中学校就学援助について	教育委員会
藤井 隆弘	保育所運営について	福祉保健部
藤井 隆弘	小学校就学援助について	教育委員会
藤井 隆弘	中学校就学援助について	教育委員会
米田 勝彦	防犯カメラについて	総務部
米田 勝彦	体育施設緊急修繕について	教育委員会
福井 康夫	道路橋梁費について	建設部
福井 康夫	給与費明細書について	総務部
福谷 直美	大谷工業団地再整備事業について	産業環境部
丸田 克孝	倉吉市産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	総務部
佐藤 博英	就農条件整備事業について	産業環境部
佐藤 博英	除雪対策について	建設部
佐藤 博英	倉吉市産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	総務部
佐藤 博英	権利の放棄について	産業環境部
朝日 等治	権利の放棄について	産業環境部
山口 博敬	緊急間伐について	産業環境部
佐々木 敬敏	除雪対策について	建設部
佐々木 敬敏	体育施設緊急修繕について	教育委員会

【質疑とは?】

市長から提案された議案に対し、賛否の態度決定が可能になるよう、疑問や不明確な点を問う発言をいいます。自己の意見を述べることはできません。質疑回数は1議題5回までとなっています。

議会からの提案

12月18日(月)に、議員から発議され、可決しました。

議会発議第4号

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の規定に基づく補助率等のかさ上げ措置の継続と道路予算の総額確保を求める意見書(要旨)

平成28年10月21日の鳥取県中部地震では、本市を中心に、甚大な被害が発生しました。震災からの復旧・復興を進める中で、道路は、復旧活動や物資の搬送に必要不可欠であり、特に、高速道路ネットワークが重要な役割を果たしています。

道路は、市民の安全安心な生活を支え、地域経済や社会活動を活性化する最も基礎的かつ重要な社会資本のひとつです。

山陰自動車道や北条湯原道路の整備の進展により、企業誘致や観光交流、移住定住等にストック効果が現われてきており、地域活性化の推進のため、全線の早期完成が強く求められています。

さらに、地方では、渋滞対策や通学路の安全対

策など、道路整備はまだ十分ではなく、橋梁など道路施設の老朽化対策や耐震化対策も大きな課題となり、一層の財源確保が必要となっています。

しかしながら、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」により規定される補助率等のかさ上げ措置は、平成29年度末で期限切れとなり、それ以降の道路整備に係る補助率などが低減されることは、地方の負担が増大するとともに、計画的な道路整備が困難な状況となります。

よって、本市議会は政府に対し、来年度以降も迅速かつ着実な道路整備の推進により地方創生が推進され、地域の活性化が図られるよう、次の事項の実現を強く求めます。

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」に規定されている補助率等のかさ上げ措置の平成30年度以降の継続と道路関係予算の総額を確保すること。

【提出先】内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長



【常任委員会とは?】

所管する部門の事務に関する調査を行ったり、付託を受けた議案や請願等を審査します。行政の事務は広く多岐にわたり、専門的であるため、合理的・能率的に調査・審査するために、部門別の委員会を設け、分科的に調査・審査します。

【常任委員会】

注 総務経済常任委員会

委員：佐々木 敬敏委員長、藤井 隆弘副委員長、伊藤 正三委員
大津 昌克委員、坂井 徹委員、鳥飼 幹男委員

執行部：総務部、産業環境部、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会



総務経済常任委員会には、11件の議案と3件の陳情が付託され、12月13日(水)に委員会審査が行われました。

議案第97号の平成29年度倉吉市一般会計補正予算(第8号)の中では、緊急間伐事業について質疑があり、森林間伐の実績が報告され、今後、さらに推進していきたいという説明がありました。

議案第110号の倉吉市農村環境改善センターの指定管理者の選定について、指定管理料を低く抑えた提案が評価につながったという説明がありました。

審査の結果、議案はすべて可決され、陳情3件は不採択となりました。

注 建設企画常任委員会

委員：由田 隆委員長、福谷 直美副委員長
大月 悦子委員、山口 博敬委員、米田 勝彦委員

執行部：企画振興部、建設部、水道局



建設企画常任委員会には、8件の議案が付託され、12月13日(水)に、委員会審査が行われました。

議案第97号の平成29年度倉吉市一般会計補正予算(第8号)の審査では、除雪対策について議論され、自治公民館が行う市道などの除雪作業への支援の条件や金額について、通常の降雪の年であれば今回の制度でお願いしたいが、豪雪であれば制度の活用状況を見て検討するとの答弁がありました。

審査の結果、付託された議案は、すべて全会一致で可決されました。

注 教育福祉常任委員会

委員：佐藤 博英委員長、丸田 克孝副委員長、朝日 等治委員
竺原 晶子委員、鳥羽 昌明委員、福井 康夫委員

執行部：福祉保健部、教育委員会



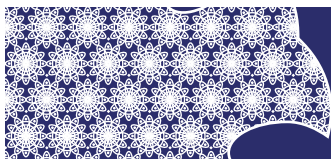
教育福祉常任委員会には、4件の一般会計・特別会計補正予算が付託され、12月13日(水)に委員会審査が行われました。

議案第97号の平成29年度倉吉市一般会計補正予算(第8号)の審査の中では、倉吉西保育園のこれまでの経過と今後の考え方についての質疑がありました。

また、同議案の審査の中で、入学前に支給することとなった就学援助の対象用品についての質疑がありました。

審査の結果、付託されたすべての議案が、全会一致で可決されました。





平成29年12月第7回定例会 議案等の議決結果

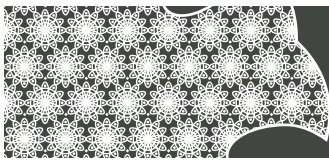
—— 平成29年度一般会計補正予算、各特別会計補正予算などを審議 ——

議案番号	件名	賛成	反対	議案に対する賛否																議決結果
				福井康夫	由田隆	伊藤正三	笠原晶子	坂井徹	丸田克孝	藤井隆弘	大津昌克	福谷直美	鳥飼幹男	鳥羽昌明	山口博敬	米田勝彦	佐々木敬敏	佐藤博英	大月悦子	
議案第97号	平成29年度倉吉市一般会計補正予算(第8号)	16	0	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第98号	平成29年度倉吉市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第99号	平成29年度倉吉市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第100号	平成29年度倉吉市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第101号	平成29年度倉吉市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第102号	平成29年度倉吉市集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第103号	平成29年度倉吉市水道事業会計補正予算(第2号)	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第104号	倉吉市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第105号	倉吉市職員の給与に関する条例の一部改正について	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第106号	倉吉市産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第107号	倉吉市若者定住新築住宅の固定資産税減免条例の一部改正について	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第108号	権利の放棄について	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第109号	権利の放棄について	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第110号	倉吉市農村環境改善センターの指定管理者の指定について	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第111号	平成29年度倉吉市一般会計補正予算(第9号)	11	5	○	○	×	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	可決
議案第112号	平成29年度倉吉市下水道事業特別会計補正予算(第4号)	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第113号	平成29年度倉吉市水道事業会計補正予算(第3号)	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第114号	特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第115号	特別職の職員の給与等に関する条例及び倉吉市職員の給与に関する条例の一部改正について	11	5	○	○	×	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	可決
議案第116号	公平委員会委員の選任について	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第117号	教育委員会委員の任命について	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議会第4号 議決	道路整備の推進に係る予算措置を求める意見書提出について	16	0	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

番号	件名	委員長報告(付託委員会)	賛成	反対	委員長報告に対する賛否																議決結果	
陳情第12号	倉吉市議会会議規則等における請願・陳情提出時の意見陳述の機会の付与等について	不採択(総務経済)	12	4	○	×	○	×	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	不採択
陳情第13号	公文書の適切な管理運用を求める意見書提出について	不採択(総務経済)	13	3	×	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	不採択
陳情第14号	共謀罪の趣旨を盛り込んだ組織犯罪処罰法の改正に係る意見書提出について	不採択(総務経済)	14	2	○	×	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	不採択

○賛成、×反対、-議長のため表決に加わらず





平成29年10月第6回臨時会 議案等の議決結果

—— 議長、副議長を選出 ——

平成29年10月第6回倉吉市議会臨時会が、10月23日(月)から25日(水)まで開催され、坂井徹議長、福谷直美副議長が選出されました。

議案番号	件名	賛成	反対	議案に対する賛否														議決結果										
				新国会	倉吉自民共同	くらよし・アイズ、草の根	公明党・グリーン共同	くらよし創生	日本共産党	つばき	無所属	福井康夫	由田隆	伊藤正三	笠原晶子	坂井徹	丸田克孝		藤井隆弘	大津昌克	福谷直美	鳥飼幹男	鳥羽昌明	山口博敬	米田勝彦	佐々木敬敏	佐藤博英	大月悦子
議案第92号	専決処分について(平成29年度倉吉市一般会計補正予算(第6号))	16	0	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第93号	平成29年度倉吉市一般会計補正予算(第7号)	16	0	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第94号	財産の取得について	16	0	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第95号	倉吉市が当事者である和解について	16	0	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第96号	監査委員の選任について	16	0	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

○賛成、×反対、-議長のため表決に加わらず

※会議録(質問、答弁など)は、各地区公民館、各人権文化センター、市立図書館などでご覧になれます。また、そのほか、倉吉市ホームページから市議会会議録検索システムがご利用になれます。

10月臨時会・1月臨時会・そのほか



平成30年1月第1回臨時会 議案等の議決結果

—— 平成29年度倉吉市一般会計補正予算などについて審議 ——

平成30年1月第1回倉吉市議会臨時会が、1月12日(金)に開催され、庁舎整備事業等の一般会計補正予算などについて審議されました。

議案番号	件名	賛成	反対	議案に対する賛否														議決結果											
				新国会	倉吉自民共同	くらよし・アイズ、草の根	公明党・グリーン共同	くらよし創生	日本共産党	つばき	無所属	福井康夫	由田隆	伊藤正三	笠原晶子	坂井徹	丸田克孝		藤井隆弘	大津昌克	福谷直美	鳥飼幹男	鳥羽昌明	山口博敬	米田勝彦	佐々木敬敏	佐藤博英	大月悦子	朝日等治
議案第1号	平成29年度倉吉市一般会計補正予算(第10号)	16	0	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○賛成、×反対、-議長のため表決に加わらず

※会議録(質問、答弁など)は、各地区公民館、各人権文化センター、市立図書館などで、3月中旬からご覧になれます。また、そのほか、倉吉市ホームページから市議会会議録検索システムがご利用になれます。





倉吉市議会を取り巻くさまざまな動き

議会活動だけでなく、さまざまな出来事や会議・イベントへの参加がありました。



震災復興にまた一步

～議場の復旧工事が始まる～

“議会活動の拠り所”の復活待たれる

平成28年10月の鳥取県中部地震で被災し、現在、使用中止となっている議場の復旧工事が、年明けから始まりました。議場は、地震により屋根を支えるコンクリート柱8か所に亀裂が入り、危険な状態であるとして地震直後から使用を中止し、市役所本庁舎大会議室などを代替施設として議会を開会してきました。

議場全体に足場が組まれ、工事関係者が出入りする様子から、復興の歩みを感じられ、早期の完成が期待されます。



復興に向けて
進めえつ！

坂井徹議長の動き—出席しました—

～平成30年倉吉市交通安全指導員出動式～

一年間、事故には遭わない、遭わせない

1月11日(木)

平成30年も事故のない安全なまちを目指して、交通安全指導員の皆さんが始動しました。今年も、日ごろからの街頭指導や広報活動、年4回の交通安全運動などを行い、市民の皆さんの交通安全意識の向上を図っていただきます。交通安全指導員の皆さんのご尽力と、市民一人一人の自覚により、安心安全のまちづくりを目指しましょう。



会派・個人 視察報告

平成29年10月から12月に行政視察に出向いた議員グループは、1団体(1件)でした。

【平成29年10月～12月分】

期 間	12月19日(火)～12月21日(木)		
視 察 先	東京都千代田区	議員会館	要望活動
	埼玉県飯能市	飯能市役所	タブレット端末導入について
	東京都台東区	東京都美術館	アートコミュニケーション事業について
	神奈川県寒川町	寒川町役場	タブレット端末導入について
視 察 者	会派名・議員名	くらよし・アイズ、草の根、倉吉自民共同：丸田克孝、藤井隆弘、大津昌克、福谷直美 つばき：大月 悦子	
	人 数	5名	
旅費総額	360,950円		

行政視察の詳しい情報は、倉吉市議会のホームページをご覧ください。

倉吉市議会

検索



高校生に聞いてみた!

倉吉の未来を拓くカギ

倉吉市議会や政治に対する若者の声

平成27年6月から、わが国では、18歳から選挙に参加できるようになりました。しかし実際のところ、若者たちは、倉吉の未来、倉吉の行政をどう考えているのでしょうか。今回、選挙権を得る前後の高校生たちに広く意見を求めました。



私は将来、看護師として医療や健康の面で地元貢献したいと思っています。

現在、倉吉市は産科の病院数が少なくなっています。都会に出ていく人の中には、地元に戻って出産したいと考えている人が少なくないのですが、産科が少ないため、もと

もとそこに住んでいる住民の方のお産を優先し、結果的に都会に出ていく人は、地元出産を断念しているそうです。病院側からしても、妊婦さんの安全を保障するため、無制限には受け入れられない状

況があります。里帰り出産は、実家の家族と赤ちゃんを迎える準備ができ、産後は家事や身の回りのことを支援してもらえ、ゆっくり休養を取り育児に専念できます。

このことは多くの若い女性たちの共感するところだと思います。

この意見をぜひ市政に反映させて、地元とのつながりがある優しく暮らしよい町にしてほしいと考えます。

倉吉西高等学校

3年 田中莉子



今回倉吉市の市政について考えるにあたり、私たち中学生などの若者に、議会や市政について関心が薄いのではないかと考えました。

平成27年の公職選挙法の改正により、満18歳以上の国民が選挙権を持つようにはなりましたが、それを有効に活用できていないと感じます。

それは、市政や議会のことをよく知らないからだと考えています。私の周囲に限って言えば、市報やインターネットでの情報がなかなか届いていないように思います。

私たちは、市や議会が倉吉のこれからを担う中高生に對

して、出前授業や講演会など議会や市政に理解を深められるような活動が学校など、身近なところであればみんなが興味を持てるのではないのでしょうか。

もちろん、私たち一人ひとりも倉吉がよりよい地域となるように自分から声を上げ行動していくことも必要です。

私たちはこれから大学に進学しますが、育った地元を大切にして常に関心を持ち続けたいと思います。

倉吉北高等学校

3年 毛利薫平
3年 加嶋颯人

特集..若者の声を聞きたい!



私は平成29年の7月に18歳になり、選挙権を得ました。10月にあった選挙に初めて行ったとき、独特な雰囲気を感じました。私はニュースなどをよくみるので知識や情報はあったのですが、他の高校生はどうでしょうか。ニュースを見なければ情報は入ってこないですし、興味を持ちながら授業を聞いていなければ知識もないことになります。

政治の内容に関しても悪い所ばかりが目立ってしまい、良い所が分からずに投票してしまふということがあると思います。私もそのひとりで、半信半疑のまま投票をしました。このようなことから、私は、今の政治の成果を目に見えない形で高校生にも伝えてほしいです。政治に興味を持ち日本国民の一人としてかわりたいたいと思います。

倉吉総合産業高等学校

機械科 3年 上田翔斗

平成27年6月、公職選挙法の一部が改正され、私たち高校生も政治参加できるようになりましたが、倉吉のことについて、私たち高校生の話題になることは少ないのが実際です。

そこで、改めて未来の倉吉の活性化について考えたことを提案したいと思います。

倉吉にはおなじみの「ひなビタ」やフィギュア工場に加えて、今年4月に「くらよしフィギュアミュージアム円形劇場」がオープンします。

これらを融合すれば、国内外の観光客を惹きつける倉吉の観光の目玉になると思います

す。そもそも鳥取県は有名な漫画家を多数輩出しており、鳥取県がサブカルチャー文化の発信地にもなっています。

県内の漫画ゆかりの地を巡るプランを作り、倉吉がこれらの中核となる施設・ソフトを充実していくことで、倉吉の活性化が図られるのではないかと思います。

そこで鍵になると考えるのは、SNSの利用と「インスタ映え」です。発信と交流のツールとして活用を検討してはどうでしょうか。

倉吉東高等学校
2年 住吉今日子

私は、倉吉が大好きです。将来も倉吉で暮らしていきたいと思っています。

生きていくためには働かなくてはなりませんが、若者が働きたいと思う職場が倉吉には少ないようです。倉吉市で頑張っている企業に、行政でも支援して地元企業を守り育てて欲しいです。

倉吉はお年寄りや子育て世代がとも暮らしやすい市だと思えます。そういった良いところは残していき、倉吉の自然豊かな古き良き景観を残しつつ、クールジャパンのアニメやポップカルチャーも取り入れたら、若者も集まる市になると思います。

我が校のミルキークイーンは全国で金賞を取るほどおいしい米です。倉吉の良い水と豊かな土とおいしい空気はたくさんのおいしい野菜や米を育ててくれます。倉吉のおいしい食べ物をたくさん宣伝し、全国の方々に食べていただいてもっと倉吉を知っていただければいいと思います。

倉吉農業高等学校

環境科 2年 岩山泰士



平成30年 3月
第2回 倉吉市議会定例会

【会期】2月19日(月)～3月9日(金)
【会議日程】

月日	曜日	会議区分	時間	内容	
2月19日	月	本会議	午前10時	議案の上程 提案理由の説明	
20日	火	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
21日	水	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
22日	木	本会議	午前10時	市政に対する一般質問	
23日	金	予備日			
24日	土	休会			
25日	日	休会			
26日	月	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑	
27日	火	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑	
28日	月	本会議	午前10時	付議議案に対する質疑 ～委員会付託	
3月1日	木	予備日			
2日	金	予備日			
3日	土	休会			
4日	日	休会			
5日	月	委員会		常任委員会(予定)	
6日	火	委員会		常任委員会(予定)	
7日	水	予備日			
8日	木	議事整理日			
9日	金	本会議	午後2時	委員長報告 ～付議議案の討論・採決	

…ケーブルテレビ放送あり …手話通訳あり

※3月定例会の詳しい日程などは、倉吉市議会のホームページでご確認ください。議会事務局にお問い合わせください。

倉吉市議会

検索

編集
後記

いよいよ受験シーズン到来だ。受験生にとっては大変な時期であろうに、本号の特集は「若者の声を聞きたい!」と題し、現役高校生に寄稿をお願いした。若者の政治離れといわれるが、なかなか鋭い指摘や意見に刺激を受けた。寄稿いただいた皆さんとお世話いただいた先生方には心より感謝いたします。未来を背負って立つ若き力に期待して、ぜひとも「サクサク」を届けたい。(編集委員長 大津昌克)

我が家は古い集落にあり、いわゆる本家筋や分家が近所にあります。本家は我が家より一段高い場所にあり、立派な石垣を備えた古く大きな家でしたが、高齢の家主が1年前に亡くなってからは住む人がいなくなり、都会に住むご親族が、痛んだ家の一部を解体されました。長年慣れた本家が、がらんとしていく様子は、思った以上に切ないものでした。古いムラ社会の弊害はよく言われますが、やはり身体の中の何かが寂しがっています(事務局T)



倉吉市選挙管理委員会

委員長 岸田 美明さん

「自分へと、必ずつながるその一票」

国政選挙の投票率は、決して高い水準にあるとは言えず、しかも長期的には低下傾向にあります。倉吉市議会議員選挙の投票率も同傾向にあります。低下傾向は一層顕著であり、選挙のたびに過去最低となっています。

—平成29年10月執行の市議選の投票率は59.79%

若年層の政治離れ・政治的無関心が言われる中であって、昨年10月には、選挙権年齢が18歳以上になってから初の市議選が行われました。そのため、18歳の若者の投票率が注目されましたが、20歳の投票率は24.65%、19歳の投票率は26.58%であったのに対して、18歳の投票率は44.27%でした。このように、18歳の投票率は、すべての年代の投票率59.79%に比べると、まだまだその差は大きいものの、他の年代の若者に比べてかなり高くなっているのは、主権者教育の成果の表れではなかろうかと思われまます。

—「主権者教育」とは

主権者教育は、「どんな社会であってほしいか」、「どんな社会をつくっていききたいか」を考える教育だと思います。

主権者教育をこのように捉えると、より一層成果をあげるためには、学校での取り組みだけでは十分とは言えません。私たちの日常生活は、色々な面で政治・政策とかかわりを持っています。各家庭や地域で、折りに触れて、身近な事柄から時事問題に至るまで、色々な話題を取り上げ話し合えば、若い人たちが政治への関心を深め、政治参加、すなわち選挙権行使の意欲を高める契機になることもありうると思われまます。

—あなたの貴重な一票は、あなたの未来につながる

選挙は民主主義の根幹をなすものであり、選挙権の行使は政治参加の第一歩です。貴重な一票に思いを託し投票したその結果は「自分へと、必ずつながるその一票」という選挙の標語にあるように、後日何らかのかたちになって自己に跳ね返ってきます。

有権者の皆さんにはこのような認識を持って、積極的に投票に行き、自己の意思を政治に反映していただきたいと思われまます。